

BELIEVE

2017
春号
VOL.60

特集 当院の乳がん治療について



mai「おうちにかえろう」 ・制作年/2015 ・素材/ペン、紙
〈エイブルアート・カンパニー所属 URL:<http://www.ableart.com.jp>〉

シリーズ 情熱の白衣 医師の素顔⑥⑩ 第二耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 平塚 康之

- 食だより「スナップえんどうの肉巻き焼き」／お薬ミニ知識「そのお薬、食前？ 食後？ 食直後？」／がんサポートチームからのお知らせ
- 外来・入院アンケート調査報告 ● 〆かかりつけ医、をもちましょう

大阪赤十字病院の理念

わたしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



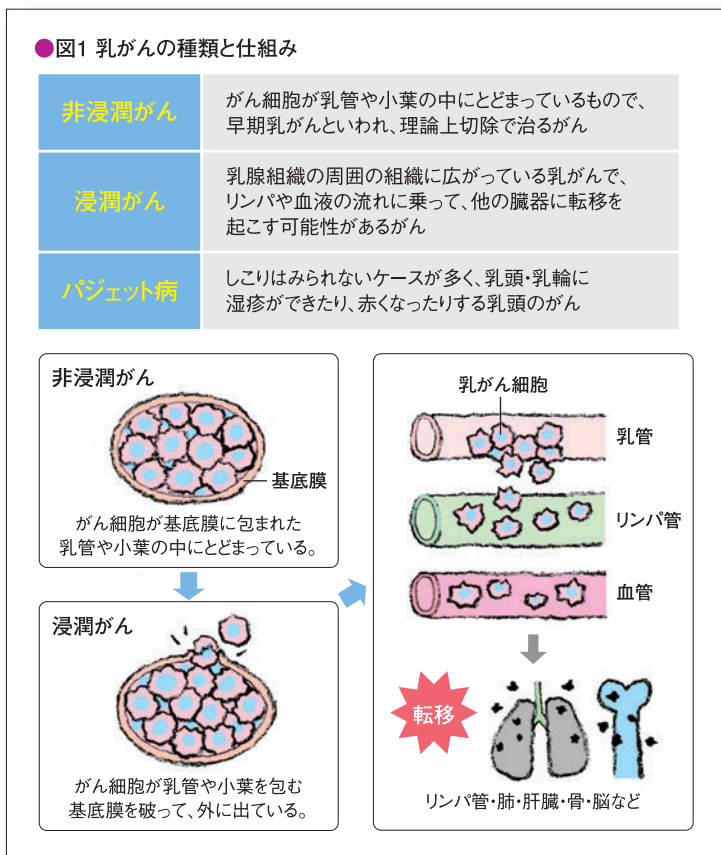
乳がんって？

乳がんは、女性の死亡率第5位、がん罹患率（がんが発症する率）第1位で、12人に1人が乳がんを発症するといわれています。30歳代から増加しはじめ、発症のピークは40歳代後半です。

乳がんは、「非浸潤がん」、「浸潤がん」、「パジェット病」の3つに分類されます。乳腺組織は母乳を作る「小葉」と、母乳を運ぶ「乳管」からできています（図1）。

乳がんの診断と治療方針決定

乳がんは、問診、視触診、マンモグラフィ、乳腺超音波を施行し、総合的に診断します。必要に応じてMRIも施行します。診断確定には、針生検による組織診を行います。乳がんの治療は、手術、放射線治療、薬物療法を組み合わせた「集学的治療」が基本となっています。そのため、針生検による組織診では、乳がんと診断するだけではなく、乳がんの治療方針に重要な因子の発現の程度も調べます（表1）。



●表1 治療方針を決める因子

組織型(がんの顔つき)
エストロゲンレセプター(ER)
プロゲステロンレセプター(PgR)
HER2
Ki67(増殖能マーカー)

当院の乳がん治療について

最近、著名人の乳がん闘病がテレビなどで報じられ、「乳がん」のことを耳にする機会が増えた方もいらっしゃると思います。「乳がん」のことはよく聞けけれど、実際のところよくわからないことも多いですよね。今号では、当院の乳がん治療について詳しく紹介します。ぜひこの機会に乳がんのことを知ってほしい。

乳がんは、これらの因子をもとに大きく5つのサブタイプに分かれ、それぞれのサブタイプごとに悪性度やお薬の効果が違うため、治療方針が異なります（表2）。

●表2 乳がんのサブタイプと治療選択

乳がんのタイプ	ホルモン感受性	HER2	薬物療法の選択
ルミナルA	+	- かつKi67低値	ホルモン療法(抗がん薬療法はほとんど必要ない※)
ルミナルB(HER2陰性)	+	- かつKi67高値	ホルモン療法と抗がん薬療法
ルミナルB(HER2陽性)	+	+	ホルモン療法と分子標的療法(抗がん薬療法と同時または順次併用)
HER2 エンリッチド	-	+	分子標的療法(抗がん薬療法と同時または順次併用)
トリプルネガティブ	-	-	抗がん薬療法

(表中の+は陽性、-は陰性)

※リンパ節転移が多数ある、しこりが大きい、核異型度が高い(がんの「顔つき」が悪い)など、再発リスクが高い場合は抗がん薬療法が必要な場合も。

「乳がん百科」より <http://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/cancernavi/breast/>

術前化学療法

手術の前に行う術前化学療法は、がんを小さくし、かつ、全身に広がっているかもしれないがん細胞を根絶するためにいきます。乳房温存を希望する患者さんには、特に重要な選択肢となります。

悪性度が高く、抗がん剤感受性が高い「HER2タイプ」や「トリプルネガティブタイプ(ER陰性HER2陰性)」では、抗がん剤を用いた術前化学療法によってがんが消失した患者さんは、がんが消失しなかった患者さんに比べて、再発率が低く生存率が良いことがわかっています。そのため「HER2タイプ」や「トリプルネガティブタイプ」の乳がん患者さんには、術前化学療法を受けることをお勧めしています。当科の患者さんのデータでも同様の結果が出ています。





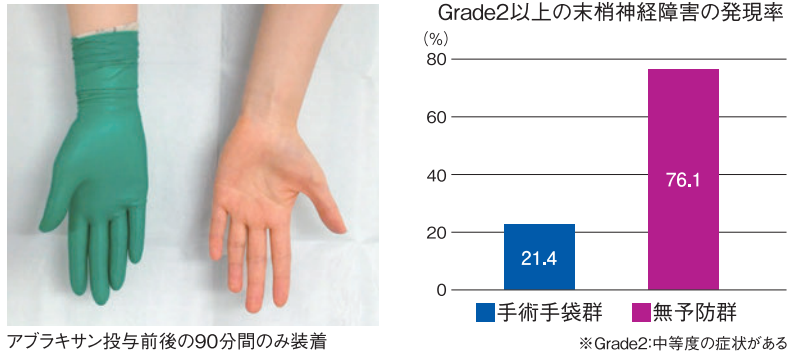
乳癌外科部長 露木 茂

神奈川県生まれ、島根医科大学医学部卒業後、京都大学医学研究科消化器外科で4年間研究に従事する。平成10年京都大学医学博士取得、平成11年〜13年まで米国国立衛生研究所に留学。京都大学第二外科、小倉記念病院を経て平成17年に当院に、平成26年乳癌外科部長に就任。

化学療法の副作用対策 「手のしびれ」の新たな予防方法

化学療法は、脱毛、吐き気、倦怠感、手足のしびれ、白血球減少による発熱などの副作用が出現します。それらの多くの副作用に対して有効な薬が開発されて、患者さんの苦痛がかなり少なくなってきました。しかし、手足のしびれについては有効な

●図3 末梢神経障害に対する手術手袋による圧迫療法の効果



雑誌 Breast Cancer Research and Treatmentに発表(2016年)

〈当院の乳癌診療にかかわるスタッフ〉

乳癌学会乳癌専門医	2名
乳癌学会認定医	1名
マンモグラフィ読影医	3名
乳腺超音波読影医	1名
乳がん看護認定看護師	1名
化学療法看護認定看護師	2名
リンパ浮腫指導技能者講習会終了看護師	3名

予防方法、治療方法がありません。当科で開発し、当院と京都大学関連の病院とで行った臨床試験の結果、小さなサイズの手術用手袋を、抗がん剤(アブラキサン)投与前後の90分間だけ装着することで、手のしびれがかなり予防できるであろうことがわかり、英文雑誌に発表しました(図3)。この方法は手術用手袋を装着するだけであり、非常に簡単で有用な方法なので、現在さらなる検証試験を行っているところです。

乳がんの手術について

集学的治療の進歩から、乳房温存手術などの縮小手術が主流となり、腋窩(脇の下)手術も術前の画像で腋窩のリンパ節が腫大してなければ、侵襲が少なく、2〜4個しか取らない「センチネルリンパ節生検」が第一選択となっています。当科でのセンチネルリンパ節の同定率は98.8%と高く、3〜4個のリンパ節を摘出でき、転移リンパ節の取り残し率を低くしています。また、平成23年の臨床試験の結果を受けて、乳房温存手術で適応基準にあてはまる患者さんは、センチネルリンパ節が2個までの転移であれば、放射線治療との併用によりリンパ節郭清を省略しています。

乳房再建手術に

関しては、人工乳房による再建術の保険適応になり、同時乳房再建を希望する患者さんが増えてきています。患者さんの希望とともに病気の進行度を考慮して、同時乳房再建が可能かを判断し、形成外科医と協力して乳房再建を行っています。

▼当院の乳がん治療にあたるスタッフ



HBOCを含め、遺伝と乳がんについて詳しく説明してくれる、遺伝カウンセリングによる遺伝カウンセリング外来(自費診療)を、昨年8月より開設しています。ご希望があれば遺伝子検査を受けることができます。詳細をお知りになりたい患者さんおよび患者さんご家族は、担当医にご相談ください。

乳がんの 病診連携

乳がんの術後フォローアップは他のがん種と異なり、10年間必要です。また進行の遅い生物学的特徴から、再発後数年間、場合によっては10年以上フォローアップすることもあります。当院では地域のかかりつけ医の先生方と連携し、術後病状が落ちている患者さんについては、『術後乳がん地域連携パス』を用いて、当院の担当医と地域のかかりつけ医の2人の主治医で診る双方向型の病診連携を行っています。『かかりつけ医』をお探しの患者さんがいらつしやいましたら一度、担当医にご相談ください。

乳がん遺伝 カウンセリング外来

乳がんの3〜5%が、遺伝子の異常により発症する「遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)」といわれています。

- HBOCとは**
- ・生涯で乳がんになる確率が、一般の方の6〜12倍と高率
 - ・性別に関係なく子どもに1%の確率で受け継がれる

HBOCの特徴

- ・若年で乳がんになった
- ・両側の乳がんになった
- ・トリプルネガティブ乳がんになった



乳がんについて心配ごと、気になることがあれば、担当医や乳癌外科看護師に気軽に相談ください。



食だより

栄養管理課

管理栄養士

山口翔平

スナップえんどうの肉巻き焼き

春野菜が美味しい季節となりました。今号は「スナップえんどう」を使った料理を紹介いたします。

「えんどう」は彩りが良く、盛り付けに使用されることが多い食材です。近年、「絹さやえんどう」は1年中収穫され、全国に多く流通しています。また、「スナップえんどう」は、分厚くて食感が良く、手軽に食べられることから、「スナックえんどう」ともいわれています。サラダや煮物、お酒のおつまみとしても幅広く使われていますが、今回は、主菜のひとつとして使います。

〈材料〉5個分

- スナップエンドウ……………10個
 - 豚肉もも薄切り……………5枚
 - 塩……………少々
 - こしょう……………少々
 - 油……………小さじ1
 - 酒……………大さじ1
 - みりん……………大さじ1
 - 砂糖……………小さじ1
 - 醤油……………大さじ1.5
- ※調味料はあらかじめ混ぜておく。
- 〈付け合わせ〉
- じゃがいも……………小1個
 - 塩……………少々



作り方

- 1 スナップエンドウは、軽く洗って筋を取る。
- 2 豚肉に塩こしょうをふり、スナップえんどうに巻いていく。
- 3 付け合わせのじゃがいもは皮をむき、食やすい大きさに切り、軟らかくなるまで電子レンジで2〜3分加熱する。
- 4 熱したフライパンに油を注ぎ、②を焼く。
巻いた肉の端がある面から焼く。肉が外れにくくなります。
- 5 肉に焼き目が付いたら、反対面にひっくり返し、蓋をして火を弱め、1〜2分蒸し焼きにする。
- 6 全体に火が通ったら、混ぜ合わせておいた調味料をフライパンに入れ、蓋をして1分程度味をしみ込ませる。
- 7 蓋を開け、肉巻きをひっくり返し、調味料をスプーンですくって肉にかけながら煮詰める。
調味料が少ないと焦げるので注意。
- 8 全体に色が付いたら火を止め、フライパンの中で粗熱を取り、さらに味をしみ込ませる。
こどもスプーンで、残った調味料をすくって肉にかけるとより味がしみ込みます。
- 9 付け合わせのじゃがいもに塩をふり、肉と一緒に盛り付けて完成。



お薬ニ知識

薬剤部 平田 藍



そのお薬、食前？ 食後？ 食直後？

お薬にはそれぞれ飲むタイミング（用法）が指定されています。お薬のそれぞれの用法を知り、正しく服用することで、副作用を防ぐだけでなく、効果を得ることが出来ます。今回は、お薬の用法についておさらいしてみましよう。

- 1 食前…………… 食事の30分位前
 - 2 食直前…………… 食事のすぐ前
 - 3 食直後…………… 食事のすぐ後
 - 4 食後…………… 食事の後30分位までの間
- 最も飲み忘れの少ない用法であるため、本来「食事に関係なく服用できるお薬」も食後に処方されることがほとんどです。もちろん食後でないとお薬や、胃を刺激しやすいために食後に服用すべきお薬もあります。

5 食間…………… 食事の約2時間後

「食事中」と誤解されることが多いですが、その真逆で、空腹時のことをいいます。お腹が空っぽの状態のほうが吸収の良いお薬や、漢方薬などがあります。服用後1〜2時間は食事を控えるようにしましょう。飲み忘れの多い用法なので、アラームをセットしたり、お薬カレンダーを活用するなど工夫してみてください。

7 頓服(とんぷく)…………… 症状に応じて2時的に服用

痛み止めや解熱剤などがあります。お薬によって服用間隔や1日の服用上限回数が決まっているので、注意しましょう。いかがでしょうか？ お薬の用法には、それぞれ意味があります。「なぜその用法で処方されているのか」「食事を摂らない場合でも服用すべき大切なお薬ではないか」など、今一度ご自身のお薬について確認してみましよう。わからない場合や不安な場合は、お気軽に薬剤師にご相談ください。

『がんサポートチーム』からのお知らせ vol.32

がん患者さんに安心して外来で治療を受けていただくために

3階外来 がん性疼痛看護認定看護師 松浦麻由美

がん相談支援センター 当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。
TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126 syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

日本では高齢化が進み、がん罹患する人が増加しています。そして医療技術などの進歩により、がんの治療も短期入院や外来が主流となりつつあります。

本院の外来にも、日々多くの患者さんが訪れます。「がん」という病名の告知や、今後の治療の説明を受ける患者さん、外来で治療を受けている患者さん、身体の調子が思わしくなく入院となる患者さんも来られます。そのような方の中には、外来での医師の説明が難しかったり、聞きそびれたことがあったり、つらい症状があったり、不安な気持ちが大きくなったりと、つらい思いをしている患者さんも多いと思います。

このようなことが予測される場合、外来診察に立ち会い、診察後にお話を伺うことがあります。医師の説明内容をどのように捉えられたかを確認させていただいたうえで補足し、わからなかったことではないか、不安に感じていないかなどを、聞かせていただいています。そして身体症状だけではなく、家族のこと、仕事のことなど、不安に感じておられることに対して、少しでも緩和できるような一緒に考え、必要に応じて情報の提供を行い、関連部署の紹介も行っています。また外来治療中の患者さんには、副作用やその予防方法の説明を行い、生活に不便を感じる場合には、それらを解消するための工夫や介護申請などの説明も行っています。

がん患者さん全員とお話しさせていただいているわけではありませんが、外来通院している患者さんとそのご家族が、がん向き合いその人らしく生活を送れるように支援しています。少しでも安心して外来で治療を受け、自宅で生活できるように、多くの患者さんの話を聞かせていただくことも多いと思っております。忙しそうに見えることも多いと思いますが、気軽に声をかけください。少しでも安心して通院できるようにお手伝いさせていただきたいと思っております。

外来・入院アンケート調査報告



本年も「外来・入院アンケート調査」を行いましたので、その結果をご報告します。多くの患者さんにご協力をいただきました。皆さまからいただいた貴重なご意見をもとに、ご期待に添えるよう、また「ごころのかよ」高度の医療」を提供していけるよう、全力を尽くしてまいります。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

調査対象 大阪赤十字病院に通院中・入院中の患者さん

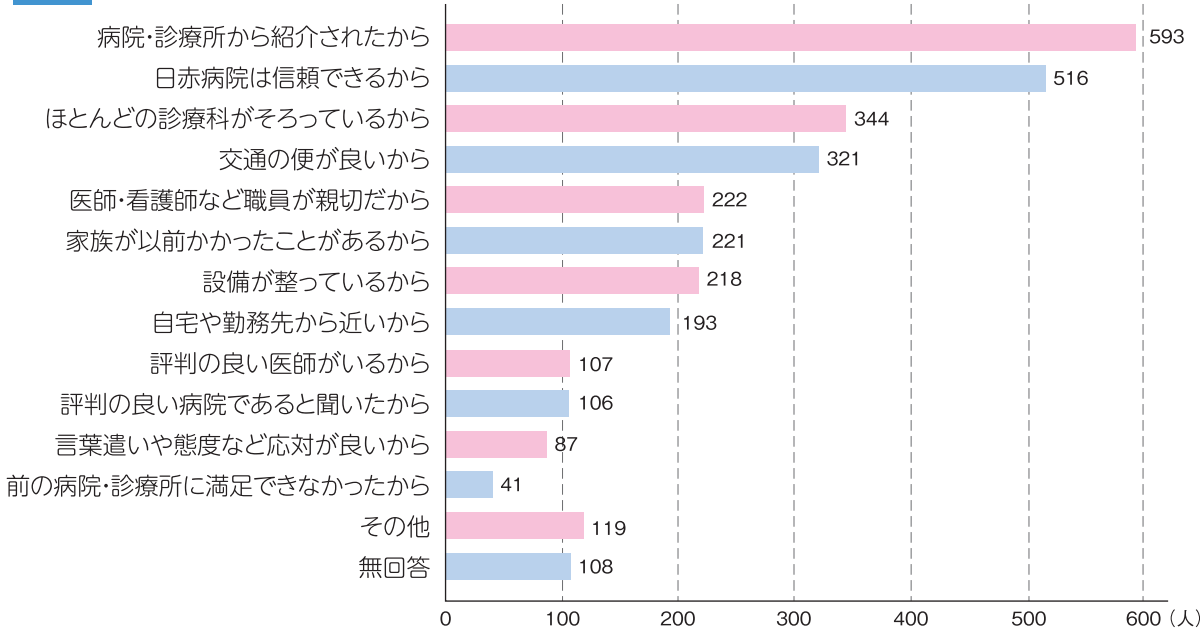
調査期間 〆外来平成29年2月14日～2月17日 〆入院平成29年2月14日～2月23日

調査方法 〆外来2階総合ホールで調査用紙を配付回収、記載ブースを設置 〆入院調査期間中に入院している患者さんに調査用紙を配付。

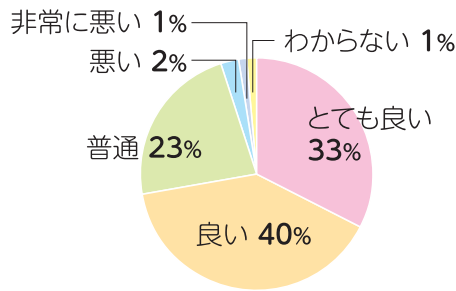
※アンケート結果は部を抜粋して掲載しています。



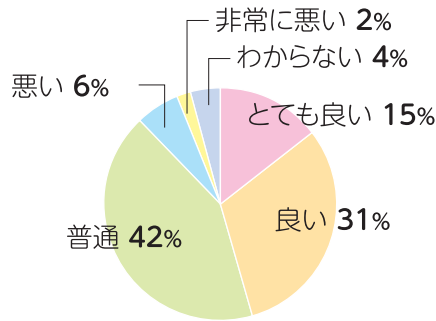
外来入院 Q 当院を選ばれた理由をお聞かせください(複数回答可)



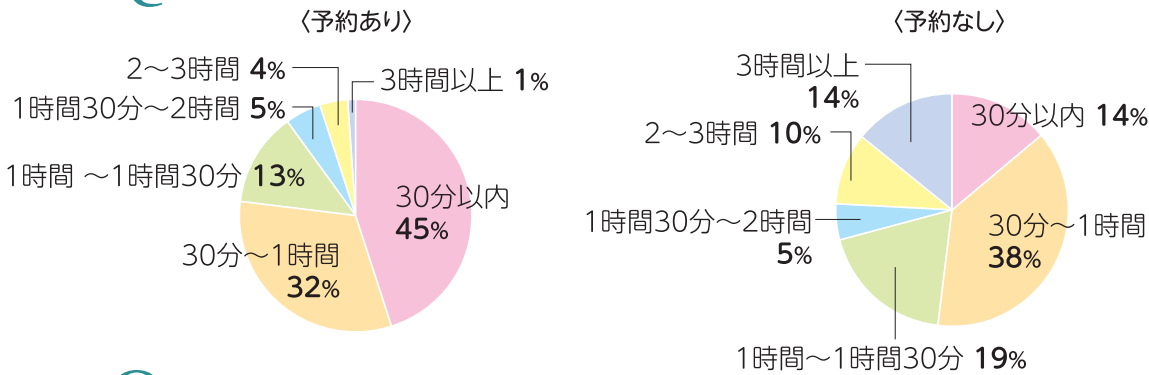
外来入院 Q 当院の建物・設備の快適度についてお答えください



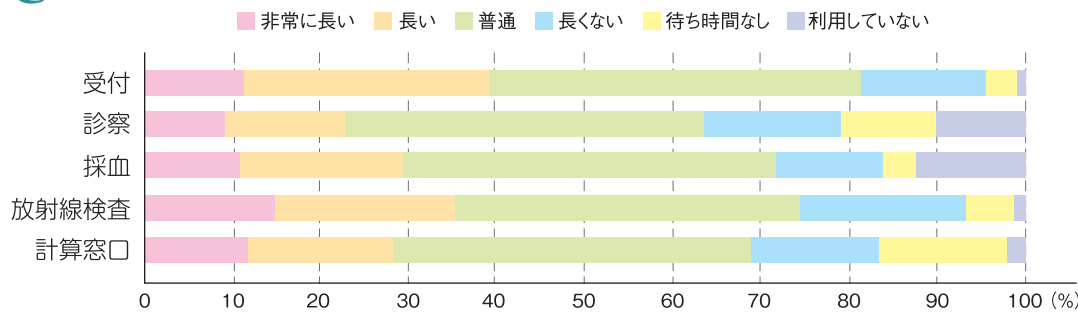
入院 Q 食事について



外来 Q 来院されてから診察を受けるまでの待ち時間についてお答えください



外来 Q 待ち時間はどうでしたか?



お褒めの言葉をいただきました

- 外来**
- 救急車で運ばれたのですが、そのときだけで終わらず、最後の結果が出るまで診ていただきました。大変ありがたかったです。
 - 今まで病気をしたことがあまりなく、大きな病気をしてとても不安だったが、先生にいろいろ話ができ、とてもうれしくありがたく思っている。
 - 診察室など物がなく整頓されていて気持ち良かった。これからも利用しようと思う。 ● 以前、別の病院で勤めていました。忙しいなか、親切、丁寧な対応に感謝しています。
- 入院**
- 今回を含めて、過去6回ほど入院歴があります。そのうち4回は手術でした。3つの科を行ったり来たり。ですが、どの科の先生もとてもわかりやすく親身になって病気についてお話ししていただきました。先生方同士で話していただいたり、とてもありがたかったです。 ● 清潔で安心して入院生活が送れると感じ、大変満足しています。院内の方の対応も非常に良く、感謝しています。
 - 手術後の「心のケア」のことなどまでお気遣いいただき、感謝感激でした!! 痛みも和らげてくださり、本当に楽に過ごせました!! 末筆ながら、先生、看護師さんに心より御礼申し上げます。
 - 地域の医院から紹介を受けて、良いドクターに手術していただき、とてもラッキーでした。安心して治療できました。ありがとうございました。

皆さまからのご意見 **1 外来**

外来で、医師の横にいる事務職の方が気になりました。

当院の外来では、「医師事務作業補助者」という職種のスタッフが医師のサポートをしています。平成20年頃、医師の事務的作業の負担を軽減させ、円滑な外来診療を行うことを目的として、国が一定の条件を満たした病院に対して、医師事務作業補助者を配置することを認めました。医師事務作業補助者の主な業務は、①患者さんへの検査等の案内業務②電子カルテシステムへの代行入力業務 ③文書作成補助業務などです。

皆さまからのご意見 **2 外来**

この病院で診てもらいたいのに、家の近くの病院へ行ってくださいと言われるのは残念です。

当院は急性期医療、高度専門医療、救急医療の役割を担っています。地域の中核病院としての機能を果たし、専門性の高い医療を必要とする患者さんをより多く治療させていただくため、まずお近くのかかりつけ医(診療所など)に相談され、受診が必要な場合は、紹介状をご持参いただくようお願いしています。また、病状が安定した患者さんには、かかりつけ医やご希望の診療所などに逆紹介させていただいています。

これは、現在国が推進している地域医療連携に基づくもので、専門的な治療・手術、救急医療の役割を担う急性期病院や、リハビリや療養を行う病院、日常的な診察や健康管理を行う診療所などがそれぞれの役割や機能を分担しながら連携し、地域全体で最適な医療を患者さんに提供するというものです。

皆さまからのご意見 **3 入院**

- ・携帯電話、室内はマナーモードの規制をお願いします。
- ・大部屋でイヤホンを使わずにテレビを見ている音や、患者さん同士での大声の私語が気になりました。

入院生活における、マナーに関するご意見を複数頂戴しました。

〈携帯電話の使用に関して〉

院内の使用禁止エリア以外では、マナーモードおよびサイレントモードに設定していただき、院内で指定されている場所以外での通話をご遠慮いただくようお願いしています。携帯電話の使用の可否はエリアごとに表示をしていますので、ご確認ください。また、個人情報・医療情報保護のため、写真・動画撮影および録音機能の使用もご遠慮いただいています。

〈大部屋での過ごし方について〉

当院では、多くの患者さんが入院生活を送られています。患者さんの病状もさまざまですので、皆さまが快適に過ごせるよう、院内のルールを遵守していただきますよう、ご協力をお願いします。→これらについては、周りの患者さんのご迷惑となる場合、職員からお声かけさせていただきますので、ご了承願います。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

皆さまからのご意見 **4 入院**

- ・個室入院の際、窓側の掃除が不十分でした。すぐに師長さんが対応していただきましたが、掃除後の点検をしてほしいと思いました。
- ・大部屋のトイレの隅にホコリがあり清掃が不十分だと感じました。

当院の施設面についてのご意見も複数頂戴しました。

ご不快なお気持ちにさせていただきましたこと、お詫び申し上げます。院内の美化に努めて参りますので、お気付きの点がございましたら、職員までお申し付けください。

皆さまからのご意見 **5 外来 入院**

ホームページで、実際に行った治療数・手術数・病名がわかると良い。

ホームページのトップページにある、「病院実績のご案内」のなかには、当院の実績を臨床評価指標(QI※)という数値や統計でご案内しています。また、「診療科・部門・医師のご紹介」のページにおいても、各診療科の特色や実績を詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。

※QIとは、病院のさまざまな機能や診療行為に関する情報を数値化したものです。

皆さまからのご意見 **6 外来 入院**

- ・病棟室内にてスタッフにプライバシーに関する質問をされた。大部屋だったので、嫌な気持ちになった。
- ・受付で、患者が来てもおしゃべりを続ける人がいた。

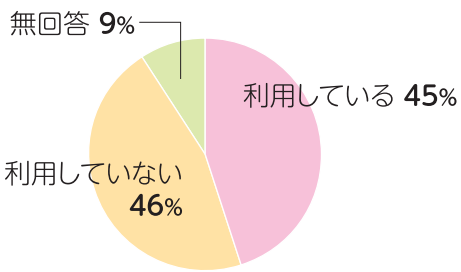
職員の対応について、入院および外来時において、さまざまなご意見を頂戴しました。職員の態度や言葉遣いなどにより不愉快なお気持ちにさせていただきましたことを、深くお詫び申し上げます。

当院では接遇に関する研修会を行うなど、患者サービスの向上に取り組んでいます。患者さんの個人情報についても、取り扱いには日々細心の注意を払って情報の管理を徹底し、また、指導や研修会を通して職員の知識を深めています。

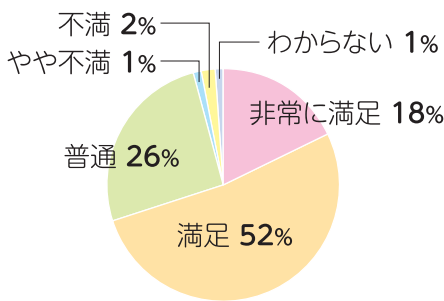
いずれにしても、まだまだ未熟であることを痛感しておりますが、今回いただいたご意見を踏まえ、患者さんの心情に寄り添い、答えられるよう、さらにより良いサービスを提供できるよう励んでまいります。今後とも患者さんと良好な信頼関係を築けるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

入院 アメニティセット(寝巻・タオル・日用品)のレンタルサービスについて

Q アメニティセット(寝巻・タオル・日用品)のレンタルを利用していますか?

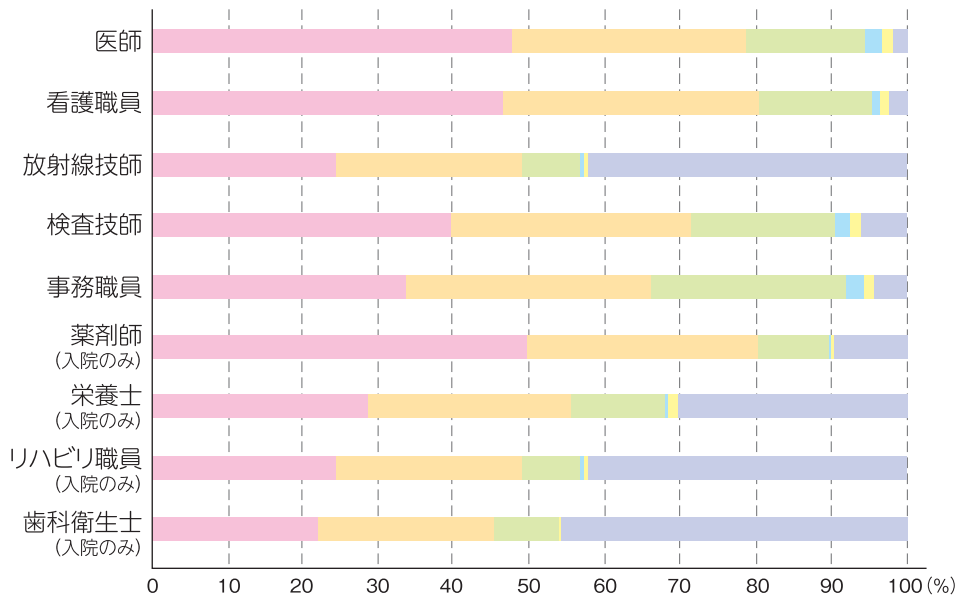


Q 〈「利用している」と答えた方へ〉 価格、品質、サービス内容などに満足していますか?



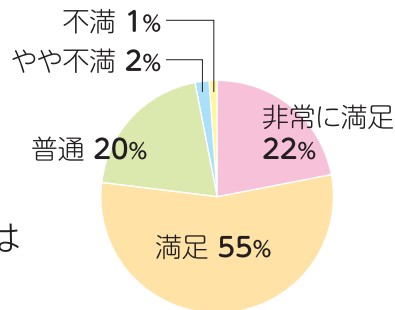
外来 入院 **Q** 職員の対応はいかがでしたか?

■ とても良い ■ 良い ■ 普通 ■ 悪い ■ 非常に悪い ■ わからない

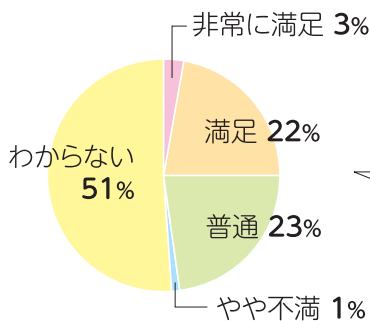


外来 入院 総合的な当院のサービスについて

Q 総合的に見て、当院のサービスに満足していますか?



Q ホームページの内容、情報量、わかりやすさなどはいかがですか?



当院のホームページには、外来受診や入院のご案内、治療実績をはじめ、さまざまな情報を掲載しています。また、「がん診療情報」を新たにオープンする予定です。当院のがん治療についての情報を詳しく掲載していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>

登録医紹介

「かかりつけ医」をもちましょう

病院と診療所がその機能や役割を分担しながら、患者さんに適切な医療を提供することが求められています。自分のことをよく知っていて、ちょっとした病気やケガの診察や相談ができる「かかりつけ医」をもちましょう。

かかりつけ医

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

逆紹介

大阪赤十字病院

高度医療・専門医療
症状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ

あら かわ い いん 荒川医院

- 院長 / 荒川 利和
- 診療科 / 内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科
- 住所 / 東大阪市三ノ瀬1-5-27
- 電話 / 06-6721-3387
- 往診 / 有(入院予定で入院待ちの間の方のみ)
- 診療時間

外来	月	火	水	木	金	土	日
午前(8:30~12:20)	○	○	○	△	○	○	△
午後(16:30~19:00)	○	○	○	△	○	○	△

※祝日は休診 ※土曜日午後の診察は14:00~15:00



特長 1980年開院以来、「早期がんの発見」を目標に、また患者さんの立場に立った医療を目指し、診療を行っています。早朝と土曜日の午後も、短時間ですが診療時間を設定し、多忙な方だけでなく、急病の方にも喜んでいただいています。話しやすい『ホームドクター』を目指しています。

地域の皆さまへ がんは早期発見が大切です。誤診を防ぐために、確定診断がつかない方や治りの悪い患者さんに対しては、大阪赤十字病院をはじめ大学病院等の他科を含めての専門医を紹介しています。「セカンドオピニオン」をお願いし、誤診予防に努めています。その結果、毎年新規発見がん患者数は10名を超えています。

くり も と ない か 栗本内科

- 院長 / 栗本 興一
- 診療科 / 内科・循環器科
- 住所 / 大阪市天王寺区東高津町11-7 IBPタワー2階
- 電話 / 06-6765-8101
- 診療時間

外来	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00~12:00)	○	○	○	△	○	○	△
午後(16:00~18:00)	○	○	○	△	○	○	△

※祝日は休診



特長 心臓病、高血圧、不整脈の管理が本業です。患者さんには糖尿病、腎不全、うつ、認知症や各種のがんをお持ちの方がおられます。それらの発見や大阪赤十字病院の専門医への紹介を心がけています。

地域の皆さまへ さまざまな病気が画像診断で確定される時代となりました。しかし、患者さんの全身症状を診ること、お話をよく伺うことが最も大事なことを考えています。

Topics Box

トピックス & ニュース

News 消防記念日に、消防功績顕彰が贈呈されました

毎年3月1日~3月7日は、全国火災予防運動期間となっており、全国の消防本部において、消防訓練、記念式典、消防防災功労者に対する表彰などの行事が開催されます。大阪市では3月3日(金)に消防記念日表彰式典が開催され、天王寺消防署の推薦を受け、大阪市消防局より当院に消防功績顕彰が贈呈されました。



人事異動情報 (平成29年1月1日~4月1日)

退職 (1月31日付) ●新田 武弘(麻酔科・医師) ●松方 絢美(乳腺外科部・非常勤嘱託医師) (2月28日付) ●中庭 功雅(麻酔科部副部長) ●山内洋平(循環器内科部・非常勤嘱託医師) (3月31日付) ●西村 一男(副院長) ●金岡 裕夫(大手前整肢学園長) ●橋本 まち子(集中治療部長) ●関川 昭(消化器内科部副部長) ●大久保 和俊(泌尿器科部副部長) ●右京 直哉(血液内科部副部長) ●中村 毅(神経内科部・医師) ●土井 洋平(腎臓内科部・医師) ●三浦 晋(第一消化器外科部・医師) ●一ノ名 晶美(皮膚科部・医師) ●伊藤 剛(第一消化器外科部・医師) ●川田 洋憲(第一消化器外科部・医師) ●矢嶋 諒(放射線診断科部・医師) ●神田 壮平(泌尿器科部・医師) ●李 成矩(形成外科部・医師) ●川田 悦子(産婦人科部・医師) ●寒河江 悠介(産婦人科部・医師) ●東尾 篤史(第一消化器外科部・医師) ●船越 莊平(リウマチ・膠原病内科部・医師) ●加藤 朋子(糖尿病・内分泌内科部・医師) ●吉松 誠芳(第一耳鼻咽喉科・頭頸部外科部・医師) ●小西 智沙都(呼吸器内科部・医師) ●中尾 聡志(呼吸器内科部・医師) ●横本 竜徳(精神神経科部・医師) ●梶川 駿介(神経内科部・医師) ●本橋 具和(歯科口腔外科部・歯科医師) ●大久保 友紀子(血液内科部・専攻医) ●諸岡 慧(放射線診断科部・専攻医) ●磯野 友美(呼吸器外科部・専攻医) ●要石 就斗(皮膚科部・専攻医) ●中尾 信裕(第一耳鼻咽喉科・頭頸部外科部・専攻医) ●辻本 吉孝(臨床研修医) ●藤本 健尊(臨床研修医) ●森本 佳奈(臨床研修医) ●鷹巢 晃昌(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●杉岡 清香(腎臓内科部・非常勤嘱託医師) ●羽山 慎一(麻酔科部・非常勤嘱託医師) ●川田 有希子(乳腺外科部・非常勤嘱託医師) ●山内 盛敬(放射線診断科部・非常勤嘱託医師) ●平田 裕也(麻酔科部・非常勤嘱託歯科医師) ●片山 英里(麻酔科部・非常勤嘱託医師) ●新谷 堯(放射線治療科部・非常勤嘱託医師) ●田尻 雄二郎(小児科部・非常勤嘱託医師) ●中村 清直(放射線治療科部・非常勤嘱託医師)

採用 (1月16日付) ●中村 彩乃(産婦人科部・専攻医) (3月1日付) ●山形 侍司(麻酔科部・非常勤嘱託歯科医師) (4月1日付) ●大西 裕之(第一泌尿器科部長) ●西尾 晋作(脳神経外科部副部長) ●野村 明成(消化器外科部副部長) ●宗 和隆(整形外科部副部長) ●高田 齊人(小児外科部副部長) ●西 憲一郎(麻酔科・集中治療部副部長) ●井上 和洋(精神神経科部・医師) ●難賀 玲子(神経内科部・医師) ●杉野 典子(血液内科部・医師) ●林 宏昭(小児外科部・医師) ●八木 大介(外科部・医師) ●鉢嶺 将明(麻酔科・集中治療部・医師) ●柴田 洋子(神経内科部・医師) ●岸 高宏(放射線治療科部・医師) ●渡辺 昌広(歯科口腔外科部・歯科医師) ●岡本 明久(麻酔科・集中治療部・医師) ●木村 佳人(消化器内科部・医師) ●相田 健次(循環器内科部・医師) ●植木 健太郎(形成外科部・医師) ●北野 正之(耳鼻咽喉科・頭頸部外科部・医師) ●中尾 英一郎(外科部・医師) ●原田 太郎(小児科部・医師) ●中村 彩加(産婦人科部・医師) ●東山 希美(産婦人科部・医師) ●野口 峻二郎(放射線診断科部・医師) ●山口 智也(耳鼻咽喉科・頭頸部外科部・専攻医) ●稲生 浩之(放射線治療科部・専攻医) ●梅花 優貴(放射線診断科部・専攻医) ●小林 紗季(精神神経科部・専攻医) ●榎原 梢(神経内科部・専攻医) ●中村 洋貴(血液内科部・専攻医) ●服部 悠斗(泌尿器科部・専攻医) ●宮本 奈緒美(眼科部・専攻医) ●山下 干聡(皮膚科部・専攻医) ●中嶋 崇貴(整形外科部・専攻医) ●今本 量允(臨床研修医) ●大塚 光(臨床研修医) ●大宮 千明(臨床研修医) ●荻野 諒(臨床研修医) ●甲 貴文(臨床研修医) ●寺柿 万理子(臨床研修医) ●西田 和樹(臨床研修医) ●前田 圭(臨床研修医) ●丸一 菜里(臨床研修医) ●水谷 萌(臨床研修医) ●山本 丈史(臨床研修医) ●由比 直樹(臨床研修医) ●和田 直樹(臨床研修医) ●羽賀 博典(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●桜井 孝規(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●南口 早智子(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●吉澤 明彦(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●片岡 竜貴(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●山田 洋介(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●寺本 祐記(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●中島 直樹(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●竹井 雄介(病理診断科部・非常勤嘱託医師) ●洪 雄貴(呼吸器外科部・非常勤嘱託医師) ●柏崎 元皓(救急科部・非常勤嘱託医師) ●所 為然(外科部・非常勤嘱託医師) ●仙田 典子(乳腺外科部・非常勤嘱託医師) ●荒 隆紀(救急科部・専攻医→非常勤嘱託医師) ●西尾 直子(放射線診断科部・非常勤嘱託医師) ●安井 大樹(麻酔科集中治療部・非常勤嘱託歯科医師) ●野村 基雄(腫瘍内科部・非常勤嘱託医師)

Event 「親と子の防災体験セミナー」を開催します

今年も夏休みに小学4~6年生とその保護者を対象とした防災体験セミナーを開催します。毎年、さまざまな体験や講義を行っています。詳細は当院ホームページやチラシでご案内する予定です。ぜひお申込みいただき、親子で防災意識を高める機会にしてみませんか。

- 日時 / 平成29年8月6日(日)
- 場所 / 大阪赤十字病院敷地内
- お問い合わせ先 / 大阪赤十字病院 国際医療救援部

病院のご案内

- 受付時間(月~金) (診療開始は午前8:45からです)
初診/月曜日~金曜日 8:30~11:30 再診/月曜日~金曜日 8:00~11:45
- 休診日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日~1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護士にご相談ください)
平日/14:00~19:00 休診日/10:00~12:00、14:00~19:00
小児病棟(平日・休診日とも)/14:00~19:00
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

当院は敷地内全面禁煙です

当院は、敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。



大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 平成29年4月発行

■ お問い合わせ

TEL:06-6774-5111 (代表)

大阪赤十字病院 <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>
赤十字全般 <http://www.jrc.or.jp/>

